

南部町人事異動 (一) は異動前

■異動(平成21年7月1日付)

○町民生活課

室長 山根 修子

(南部箕蚊屋広域連合)

○出納室

主幹 後藤 由美(総務課)

○南部箕蚊屋広域連合

主査 深田 弥生(出納室)

■退職(平成21年7月4日付)

○西伯病院

事業管理者 三嶋 英輔

■任命(平成21年7月5日付)

○西伯病院

事業管理者 田中 耕司



田中 耕司
病院事業管理者

〈主な経歴〉

平成15年10月1日 宮崎大学医学部総務課長

平成16年4月1日 鳥取大学総務部企画調整課長

平成19年4月1日 鳥取大学経営企画部長

(平成21年3月31日定年退職)

歴史と伝統のある西伯病院で仕事をさせて頂くことになりました。西伯病院が地域の保健・医療・福祉

の拠点として、今まで以上に、住民の方々にとって安心のシンボルとなるような病院にしたいと思っております。地域医療を取り巻く環境は厳しいものがありますが、職員一体となつて病院運営を行い、南部町の発展に寄与できればと思います。地域の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

人権擁護委員に生田清さん



生田 清さん
(八金)

平成21年7月1日から3年間の任期で、生田清さん(八金)が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。

なお、退任された頼田利恵さん(朝金)には、3年間のご労苦に対し、感謝状が贈られました。

人権擁護委員は、あらゆる人権擁護のための啓発活動や、個人などから人権にかかわる相談を受けています。町内での相談は、総合福祉センターしあわせ(法勝寺)及び交流会館(天萬)で、毎月1回行っています。

生ごみ処理機・コンポストの購入に 補助金制度をご利用ください

南部町では、生ごみ処理機・コンポストの購入に対して補助金交付制度があります。

生ごみ処理機・コンポストを使用することは、可燃ごみの減量化や堆肥化による循環型社会への取り組みとして有効な手段です。

■補助金

生ごみ処理機 20,000円 コンポスト 2,000円

■コンポスト容器使用のポイント

1. 日当たり・水はけの良い場所に設置する。

コンポストの下となる場所を約30cmの深さに掘り、容器は10cm程度地中に埋めて固定する。

2. 投入する生ゴミは、水切りを十分に行う。

水分が多いと「発酵・分解」が遅くなったり、臭いが強くなる場合があります。

3. 生ごみを投入したらその上に土をかぶせる。

土は、水分調整・臭いの吸着、発酵促進を手伝います。

うじ・蠅、悪臭が発生した場合は、土や乾いた落ち葉を入れて水分調整を行ってください。

水分を少なめに保つことで発生抑制ができます。米ぬかを加えることも発酵促進に効果的です。



お問い合わせ先 町民生活課(天萬庁舎) TEL 64-3781